

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 29 年度 第 5 回理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：後藤、早川、林（博）、高木、浅野、松浦、舟橋、佐々木、荒井、乙訓、林（泉）、
美濃輪、棚村、市川、帖佐、佐藤、清水、高崎、柴、森、太田

欠席者：青木、川島、兼子

議長：浅野

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

日臨技より資料の送付がありました。

平成 29 年 12 月締め分の会費送金について、平成 29 年度会費・平成 29 年度入会金・平成 29 年度再入会金は 0 円でした。（高木理事）

日臨技より検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講率促進についての依頼があった。岐阜県は修了率 79.6%で全国 1 位であります。引き続き受講促進ご協力お願いいたします。（高木理事）

日臨技より診療報酬改正に伴う説明会開催についての案内があった。平成 30 年 4 月 1 日から実施予定の診療報酬改定について厚生労働省担当官を講師に招き説明会を開催します。開催日は平成 30 年 3 月 24 日（土）午後 2 時～午後 4 時 30 分、場所は日臨技会館 3 階 第 1 会議室、募集人員は 70 名、参加費は日臨技会員無料である。申込方法は会員については Web から事前受付が可能である。希望者は HP より申し込みください。（高木理事）

早川理事より岐阜地区総会についての報告があった。

開催日時は平成 30 年 1 月 26 日（金曜日）19 時 30 分より。場所は長良医療センター外来棟 2 階第 1 会議室で開催した。議案書について、平成 29 年度岐阜地区理事活動報告内容として、平成 29 年 6 月 4 日（日）春季拡大研修会及び定時総会を岐阜大学病院医学部記念会館で開催。参加者数、市民公開講座市民参加者数、決算報告について高木理事より報告があった。平成 29 年 11 月 6 日（日）第 37 回ぎふ市民健康まつりが岐阜市文化センターで開催された。催事の説明、各検査コーナーの市民参加人数、参加スタッフ人数について後藤理事より報告があった。平成 30、31 年度岐阜地区理事選出については 1 グループより藤本信吾技師（岐阜大学医学部附属病院）、2 グループより森さゆり技師（岐阜中央病院）、3 グループより斉藤大輔技師（岐阜市医師会臨床検査センター）、4 グループからは岐阜県総合医療センターより推薦していただく、5 グループより後藤幸雄技師（松波総合病院）の推薦があったことを報告した。挙手による議案の採決を行った。4 グル-

プは役員推薦委員会までに推薦候補者を提出することで各グループの推薦候補者が承認された。今後の予定、次年度の予定、期日未定の案内を行った。平成30年3月25日(日)第56回岐阜県医学検査学会はOKBふれあい会館で開催。一般演題15題、教育講演、市民公開講座の案内が林理事よりあった。その他については岐阜地区役員推薦委員と岐阜地区選挙管理委員について高木理事より連絡があった。平成28・29年度岐阜地区役員推薦委員 第1グループ:野久 謙会員(岐阜大学病院)、第4グループ:川嶋 文恵会員(岐阜県総合医療センター)、平成28・29年度岐阜地区選挙管理委員、第2グループ:武藤次郎会員(岐阜赤十字病院)。平成30、31年度岐阜地区役員推薦委員 2グループ 武藤次郎技師(岐阜赤十字病院)、5グループ 太田義和技師(東海細胞研究所)。平成30、31年度岐阜地区選挙管理委員 3グループ 後藤美香技師(岐阜市民病院)である。岐阜地区理事選出及び連絡責任者会議開催に係るグループ分けについては1グループの岐阜大学医学部附属病院の施設名が現在5つ分かれているため1つにする。そのため1グループは岐阜大学医学部附属病院、岐北厚生病院、岩砂病院・岩砂マタニティの3施設名となる。グループによっては理事選出を順番制で決めているところもあり、他のグループと施設数をシャッフルすることはしない。前任の理事がフォローするので会員が少ない施設も理事活動に参加してほしいとの報告が高木理事よりあった。

岐阜地区技師会会員数354名 総会出席25名、委任状出席239名、過半数以上の参加により岐阜地区総会の成立を報告し終了した。(早川理事)

岐阜地区は会員数の少ない施設からも理事役員として参加していただけるのでしょうか。(浅野理事)

地区総会でもできるだけ参加していただく様、お声を掛けていますが実際は他の地区と同様、難しい状態です。(高木理事)

高木理事より第56回岐阜県医学検査学会についての連絡があった。

開催日は平成30年3月25日(日曜日)午前9:00より受付、午前9:30より開催。学会会場はOKBふれあい会館3階大会議室(302)。実務委員の準備は3月24日(土曜日)17:30より会場設営と3月25日(日曜日)午前9:00受付開始(スタッフ8:40集合)鍵の受取りは8:45である。県学会演題数は15例(生理部門11演題・生物化学分析門1演題・病理細胞部門1演題・微生物部門2演題)広告協賛は9社になった。ゼク・テック株式会社、ニプロ株式会社、株式会社日立ハイテクノロジス、デンカ生研株式会社、和光純薬工業株式会社、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社、極東製薬工業株式会社、積水メディカル株式会社、栄研化学株式会社。教育講演の座長は岐阜医療科学大学の前田悟司先生に変更します。一般演題座長依頼書は発送しました。2月定期便で県学会参加申込書を発送します。(高木理事) ランチョンセミナーで富士テレビより講師の変更依頼(福田雅之助先生から吉尾仁美先生へ)がありました。2月発送の案内は印刷が済んでいますので修正できませんが、資料集の変更には間に合いますので修

正します。(高木理事)

松浦理事より西濃地区からの報告があった。

平成 30、31 年度西濃地区理事等改選候補者選任会議を開催した。会議開催日時は平成 30 年 1 月 25 日 (木) 18 時 30 分～20 時 00 分、会場は大垣徳洲会病院 8 階会議室、出席者は臼井信雄会員 (大垣徳洲会病院)、清水康之部長 (大垣徳洲会病院)、奥田清司会員 (大垣市民病院)、浅野敦理事 (大垣市民病院)、川島直樹理事 (西美濃厚生病院)、後藤浩理事 (揖斐濃厚生病院)、外川綱生会員 (揖斐濃厚生病院)、金山好光会員 (国保関ヶ原診療所) 桑原理恵会員 (博愛会病院)、北平敏幸会員 (海津市医師会病院)、松浦康博理事 (メディック) 欠席者は荒木誠会員 (西美濃厚生病院)。会議内容は西濃地区理事の選任方法について (地区理事 3 名の選出方法) 大垣市民病院とメディックで各 1 名、計 2 名、揖斐厚生、西美濃、大垣徳洲会で 1 名 今回は揖斐厚生、次回は西美濃とする。選挙管理委員と推薦委員の確認、平成 30 年まで選挙管理委員は奥田清司会員 (大垣市民病院)、推薦委員は桑原理恵会員 (博愛会病院)、北平敏幸会員 (海津市医師会病院)、地区理事改選後 1 年後に選挙管理委員及び役員推薦委員を選任する案を申し合わせしました。次期理事及び常務理事の選任について、平成 30、31 年の西濃地区理事候補者は浅野敦理事 (大垣市民病院)、外川綱生会員 (揖斐厚生)、松浦康博理事 (メディック) の 3 名を推薦させていただきます。その他：地区総会準備 春季拡大研修会 西濃地区担当の報告、春季拡大研修会、平成 30 年度定時総会開催日 6 月 10 日 (日) 場所は岐阜医療科学大学早緑ホール、今回大垣市情報工房が取れなかったことをお詫び申し上げます。(松浦理事)

平成 29 年度西濃地区総会を開催した。会議開催日時は平成 30 年 2 月 6 日 (火) 18 時 30 分～19 時 30 分、会場は大垣徳洲会病院 4 階会議室、進行は浅野敦理事 (大垣市民病院)、川島直樹理事 (西美濃厚生病院)、松浦康博理事 (メディック) の 3 名である。西濃地区会員数 147 名、出席者数 27 名、委任状数 96 名、西濃地区総会出席者、委任状合計 123 名、よって地区総会の成立を報告した。内容は平成 29 年度西濃地区活動報告として、平成 29 年 10 月 15 日 (日) 第 22 回大垣市市民の健康広場、会場は垣城ホール、高木先生より報告があった。平成 30.31 年度 西濃地区理事選出については、平成 30、31 年の西濃地区理事候補者、浅野敦理事 (大垣市民病院)、外川綱生会員 (揖斐濃厚生病院)、松浦康博理事 (メディック) の 3 名を西濃地区役員推薦委員より推薦させていただきました。決議を行ない、了承して頂きました。決議後、役員推薦委員会、選挙管理委員会に提出します。今回の総会で西濃地区の学術 精度管理 組織調査 広報宣伝 渉外の各部長について立候補及び推薦はありませんでしたが、各会員に役員及び選挙管理委員会より打診はあるかもしれない旨を報告しました。今後の西濃地区理事の選任方法 (地区理事 3 名の選出方法) は施設の技師会員数を鑑みて、大垣市民病院 1 名、メディック 1 名の計 2 名及び、揖斐濃厚生病院、西美濃、濃厚生病院、大垣徳洲会病院の 3 施設から 1 名を選出

することとなった。(松浦理事)

荒井理事より飛騨地区から高山市市民健康まつりについての報告があった。

開催日は平成 29 年 10 月 1 日(日)、開催場所は高山市保健センター 1 階。開催時間は 10:00~15:00 であった。決算報告は日臨技もの忘れ相談プログラム 1 台 0 円送料のみ。骨密度測定 日本光電(ビーナスα1 台)(10,260 円)、日当 1 人 1,000 円×10 名(10,000 円)、交通費 10 名(距離により換算)(3,600 円)、食卓費弁当、お茶代(6,459 円)送料日臨技もの忘れ相談プログラム返却(1,261 円)支出合計額(31,580 円)となった。(荒井理事)

飛騨地区総会の開催予定はいつ頃ですか。(浅野理事)

飛騨地区総会は 3 月を予定しております。次回理事会で報告します。(荒井理事)

市川理事より東濃地区からの報告があった。

東濃地区総会の日程は 3 月 2 日の金曜日に開催します。理事役員の輪番制についての話し合いを予定しています。(市川理事)

乙訓理事より中濃地区からの報告があった。

1 月 24 日に中濃地区総会を予定していましたが天候不良のため 3 月 7 日に変更し現在、出欠を取り直しています。(乙訓部長)

帖佐部長より中部圏認定病理の会企画研修会(そうだったのか!包埋・薄切)についての報告があった。開催日時は平成 30 年 7 月 14 日(土) 12:30~17:40、場所は名古屋大学医学部 第一講義室(代表者会議 ゼミ室 302)、岐阜県臨床検査技師会開催、企画内容は包埋・薄切作業とは技師の熟練した技術を要する工程であり、手作業で行うため様々な要因の影響を受けやすい。特に腫瘍病理では、断端、深達度の検索等については包埋面が適切でないとき正しい病理診断が行えず、後の治療選択が行えないこととなる。また、薄切作業は適切な面で切片作製することは当然であり、適切な切片厚で作製できないと診断が困難であり、病理医のストレスとなる。今回の研修会では、薄切作業の理論や精度管理について講演を行う。また、医療事故や切傷事故が発生しやすい工程でもあるので医療安全・労働安全についても講演を行う。また、病理医が病理診断に際して求める標本の質について特別講演として病理医の先生に講演いただき、どのようなことに配慮し標本作製を行うべきか学ぶ。プログラムは講演 1.「包埋・薄切の労働安全とテクニック」(仮)浜松医科大学医学部附属病院 栗田佑希 技師、講演 2.「包埋・薄切についての医療安全」三重大学医学部附属病院 藤田良浩技師、講演 3.「薄切の内部精度管理」静岡県立総合病院 岩崎朋弘 技師、講演 4.「伸展について」名古屋大学医学部保健学科検査技術科学専攻 橋本克訓 技師、講演 5.「多彩な薄切方法-薄切動画鑑賞と解説-

西尾市民病院 中村広基 技師、特別講演。「正確な病理診断に必要な病理標本作製とは」、愛知医科大学医学部附属病院・病理診断科教授都築豊徳先生。以上の内容について理事会での承認を頂きたい。(帖佐部長)

中部圏認定病理の会企画研修会の内容について本理事会での承認を得た。

岐阜県臨床検査技師会 部門長・副部門長 変更届けについて連絡があった。よろしければ理事会での承認を願います。

染色体遺伝子部門の副部門長がまだ決定していませんので、3月中には決定していただくように連絡してください。(浅野理事)

岐阜県臨床検査技師会 部門長・副部門長・部門員の 変更届について、本理事会で承認を得た。

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

平成 29 年度第 3 回精度管理事業部会議を開催した。開催日時は平成 30 年 1 月 28 日(日) 10:00~11:00、場所は東海中央病院 3 階大会議室、出席者は佐藤恵彦部長、玉置佳澄会員、平光幹彦会員、渡邊景介会員、武藤延秋会員、中島直美会員、加藤雅子会員、片桐恭雄会員、長島敏之会員、酒井美穂会員、近藤眞一会員、八木良仁会員、三島功士会員、欠席は山本初津恵会員、田中滋人会員、山本将毅会員、伊藤秀明会員であった。全体としての本年度の反省と問題点は、参加申し込み忘れ防止のため次年度は次の対策をとる。技師会広報で宣伝する。案内文を色紙にする。期限を大きく表示する。参加費と基本料金の未登録施設が 11 施設あった。チェック欄を再上部に移行し、目につくようにした。システム上で、何かを申し込むと基本料金が自動選択となるようできないかを確認してみる。試料配送については感染症検体の取り扱いが必要とされる懸案があったが、例年通りゆうパックでの配送が可能だった。2 次サーベイ実施項目を明確にする。入力間違いがあった場合、試料が再配送できないもの(CBC HbA1c 輸血、病理)は是正報告書の提出で対応する。是正報告書はほとんどの施設が提出された。提出先が正確に伝わっていなかったため、明記するようにする。各部門の反省と問題点について、臨床化学は 2 次サーベイを実施、是正報告書の確認と指導ができた。HbA1c: できれば高値試料使用したいが、該当するボランティアが見つからない。免疫は 2 次サーベイを実施、是正報告書の確認と指導ができた。2 次サーベイ試料配送方法: 近い施設は直接持って行った。血液は自家製試料の調整について、本年は問題なくできた。尿一般は時系列評価表の作成が完了した。細菌は出題形式について、回答しにくい箇所があり見直していく。設問を減らしたい…精度管理事業部内では特に規定はないので部門内で決めていく。輸血は関東甲信越ブロック血液センターから抗血清を譲渡してもらい試料を作製した。試料作製は、昨年度まで担当者自施設にて一人で行っていたが本年度は引継ぎも兼ね 2 人で行った。出張費は支給された。次年度、試料購入依頼済み。病理細胞診は特に問題なし。

生理は呼吸機能検査の出題ができなかった。設問の難易度について検討が必要である。内部精度管理は今後の入力の実用性について日臨技に確認する。役員変更については、血液が山本将毅会員から部門内で調整中、情報は近藤真一会員から西美濃厚生病院の棚橋正智会員に、部長は佐藤恵彦部長から未定である。細胞は酒井美穂会員から中津川市民病院の吉村昌昭会員に、一般は加藤雅子会員から部門内で調整中である。輸血は八木良仁会員から岐阜県総合医療センターの福岡玲会員に、交代要員の確保がむづかしいところは理事会にかけていく。次年度計画として、今年度の日程に特に無理はなかったようなので、同様に予定を立てた。年間予定としては、JAMTQC 使用申請（1月）、JAMTQC マスター登録、項目・試料名称決定（納品書に記載される）（4月中）、精度管理調査案内文配布（5月20日）、受付期間（6月1日から15日）、設問締切り（8月16日）、第1回会議（設問確認作業）（8月17日）、試料発送（岐阜市民病院）（8月26日）、施設認証案内（9月中）、回答締切り（9月11日）、集計作業締切り（一次評価終了）（9月25日）、一次報告書発送（C・D評価施設のみ）（10月5日）、二次サーベイを受けるかの意思表示確認（10月12日）、二次サーベイ試料発送（10月16日）、是正協力作業（C・D評価サポート、3SD抽出）（10月中）、是正報告書提出（10月中）、再入力期間（10月22-23日）、第2回会議（最終評価）（10月26日）、総括集原稿締切り（11月27日）、総括集校正作業（12月中）、総括集納品（12月下旬）、最終評価、総括集、参加証の発送（12月下旬）、報告会スライド締切り（平成31年1月18日）、報告会資料公開（平成31年1月20日）、報告会・第3回会議（次年度計画）（平成31年1月27日）、とする。その他として総括集が各部門担当者に届いていなかったため届くよう手配する。（佐藤部長）

報告会にて、今年度より日臨技の試料を使用した。全国でどのくらいの施設が利用しているのか、他県のデータと比較して当県はどうか、昨年度よりCV値が下がったのは試料のためなのか、との質問がでた。HbA1cは測定方法によっては前処理が必要となるので、実際の操作に即した方法を検討してはどうかという意見が出た。・HBsAgは定性法で評価しているが、定量法を評価する必要性はどうかとの意見が出た。・岐阜臨技ホームページから精度管理調査の設問、画像が閲覧できることとその方法をアナウンスした。参加者は会員70名、メーカー20名と例年並みであった。（佐藤部長）

フォトサーベイは部門員による問題妥当性の事前検証をして頂くのがよいと思います。（浅野理事）

清水部長より組織調査部からの報告があった。

各地区で開催される総会ですが、参加者の基礎30点を日臨技に申請しますので開催日、開催場所、参加者氏名、参加者会員番号を清水までメールで送ってください。（清水部長）

検査と健康展を来年度も関市わかさプラザで行いたいとおもいます。いかがでしょうか。

(清水部長)

本理事会での承認により、関市わかさプラザで開催することに決定した。

来年度は体育館の改修が終わりますので広い場所での開催が可能となります。ご協力お願いいたします。(清水部長)

中濃地区総会で検査と健康展について来年度中濃地区での開催する旨を報告します。(高崎部長)

検査と健康展は、各地区での持ち回り開催とすることになっていましたが、来年度は開催日や会場等の都合により、もう一度中濃地区での開催をお願いしていただく様に総会で説明してください。(浅野理事)

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

2月20日に第56号を発行いたしました。ご協力ありがとうございました。今後の予定ですが次回は5月の発行を予定しています。内容は全国学会、県学会、春季拡大研修会、各部門報告、施設紹介、中部圏支部学会を予定しています。(高崎部長)

年始は新人さんの紹介等(新人特集)も入れてください。(浅野理事)

柴部長より渉外部からの報告があった。

岐臨技情報交換会についての連絡があった。日時は平成30年2月24日(土)18:00~20:00、場所はくいもの屋わん名鉄岐阜駅前店で行います。皆さんの参加をお待ちしております。(柴部長)

平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会及び、平成30年度 初級・職能開発講習会受講対象者派遣についての連絡があった。平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会は日時、平成30年3月4日(日)9:10~17:30、対象者は岐阜県臨床検査技師会会員。年齢は問わないが、臨床検査技師として中堅以上の経験を有する者が望ましい。30代半ばから40代半ばを対象。募集人員は30名程。申込期日は、平成30年2月16日(金)。カリキュラムは9:10受付開始、9:25開会挨拶、9:30講演①「医療情報、臨床検査技師を取り巻く状況の共有」講師日臨技 副会長 梶山広美、10:30休憩、10:40講演②「日本臨床検査技師会、都道府県臨床検査技師会の事業活動について」講師兼子会長、11:20休憩、11:30ランチョンセミナー(オーソダイアグノスティックス)11:40講演③-1「プロセス・エクセレンスの概要」-2「グランド・ルールとチーム内の役割」-3「プロセスとプロセスマップの考え方」講師:オーソダイアグノスティックス増本隆氏、12:45休憩、13:00、グループディスカッション(グループは4組。6から7人)14:20休憩、14:35実行プラン・リストの作成、15:20休憩、15:35プレゼンテーション大会、途中休憩、17:30閉会挨拶/終了。3月4日のリーダー育成研修会は6名1組で4グループ24名を予定しています。各地区で人数を決めさせていただきました。岐阜

地区より7名、西濃地区より5名、中濃地区より5名、東濃地区より5名、飛騨地区より2名。現在、大垣徳洲会より1名、木澤記念より2名である。(柴部長)
大垣市民病院より1名参加させていただきます。(浅野理事)

平成30年度 初級・職能開発講習会は日時が平成30年4月22日(日)8:30~16:00、対象者は岐阜県臨床検査技師会に所属する卒後3~5年の正会員。20代半ばから後半までを対象。申込期日は平成30年4月6日(金)、募集人員は50名程。カリキュラムは8:30受付開始、9:00オリエンテーション、9:10副会長講話「医療情報と今後の方向性について」日臨技 副会長 横地常弘、10:10休憩、10:20基調講演「多職種連携医療で活躍する臨床検査技師」日臨技 副会長 横地常弘、11:50昼食、13:00グループワーク「多様なニーズに対する臨床検査技師のあり方」司会：県担当講師横地副会長、15:00休憩、15:10eラーニング「自己学修支援システム」の概要説明、15:50閉講式、16:00終了。(柴部長)

その他

平成30年度選挙管理委員長はどなたですか。(高木理事)

平成30年度選挙管理委員長は奥田清司会員(大垣市民病院)である。4月に新理事選挙用紙を会員に配布、開票後、5月18日理事会で承認する手順となる。(浅野理事)

平成30年度事業計画について各部より報告があった。協議により修正が必要とされる箇所についてのみの報告する。

冒頭文については新しく行う事業に職能向上のための臨床検査技師育成企画を追加することとなった。

学術部門は春季拡大研修会開催場所が岐阜医療科学大学に修正。秋季拡大研修会は中濃地区での開催、研修内容は病理・遺伝子。輸血細胞治療部門の開催年度を平成30年に修正、職能向上のための臨床検査技師育成企画は人材育成部ですので学術部より外します。

精度管理事業部は文章記載日を消すこと以外特に変更なし。

組織調査部は人材育成部会事業に職能向上のための臨床検査技師育成企画を加えます。

広報宣伝部は56号を5月に変更し内容は春季拡大研修会・全国学会・新人特集を取り入れます。57号は7月発行で会長挨拶・理事紹介・新人サポートなどを取り入れます。

渉外部は特に変更なし。

庶務部も特に変更なし。

会計部は平成 29 年度中間決算で経常費用の消耗品費の減少は前年度印刷費の一部が消耗品費となっていたことによりものである。平成 30 年度収支予算案については平成 29 年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会収支予算適用を平成 30 年度に変更する。

平成 30 年度事業計画は各部署で修正したあと、2 月中に庶務部に送ってください。3 月初旬には岐臨技 HP にアップロードします。

議長 _____ 印

議事録署名人 太田 義和 

議事録署名人 森 じゅり 

